

みたけ夢だより



9月号

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

横浜市立みたけ台小学校



これからの学校生活を想う

校長 谷口 佐智子

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。久しぶりに友達に会えてわくわくしている子も、久しぶりなので少し緊張してドキドキしている子もいるようでした。しっかりと一列に並んで集団登校する子どもたちの様子を見ながら、大事なく学校が再開できたことに、まず一安心をしました。

アフターコロナのこの夏は、好きなところへ行けたり、思いっきり遊んだりすることができてよかったなと思っていました。けれども、夏休み中の児童の水難や交通事故のニュースがいつもより多く感じられ、とても悲しい思いになりました。

また、地球温暖化の影響なのか、すさまじい猛暑が続き、台風や山火事などがありました。北陸や北海道の方が横浜より気温が高い日もあって、とても驚きました。さらに、これから9月に入っても猛暑が続き、ましてや来年ももっと暑くなるというのですから、一個人としても地球にとって何ができるかを真剣に考えていかななくてはいけないことを痛感します。

「学校行事の再構築」について学校説明会でお伝えしました。アフターコロナだけではなく、地球温暖化のように今までの常識が通用しなくなっている現状を捉えて、その状況に合わせて変えていくことを考えていかななくてはならないと思っています。

北海道で熱中症により2年生の児童が亡くなったニュースには衝撃を受けました。水分補給をしてもということであれば、外に出る活動そのものに制限をかけなくてはならないかもしれません。現在も「今日は暑いので、休み時間は外遊びができません。」とアナウンスをしたり、下校時には「必ず水を飲むこと」を促す放送をしたりしています。帽子をかぶらせたり、こまめに水分補給をさせたりと、特に校外学習や登下校にはかなり気をつけているところですが、これからの校外の行事や学習については中止の判断も必要かと思っています。

10月末に予定している運動会について、職員会議で検討しています。今までは感染症対策でしたが、これからは熱中症対策も求められます。練習時の熱中症対策も考慮しながら、実施計画を立てています。来週には第一弾をお知らせする予定です。子どもたちの学びを大切にしながらも、安心して安全な運動会にしていきたいです。どうかご理解をいただきたく思います。

最後になります。夏休みに向けて子どもたちへ「課題を見つけて取り組みましょう。」と話をしていたので、自分は「みたけくん」づくりに挑戦をしました。「手作りみたけくん」が、一生懸命頑張っている子どもたちの癒しになってくれればと思っています。

「みたけくん」です。→

